

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 横浜市中区地域子育て支援センター・保育所等訪問支援事業所

公表日 令和7年 4月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 設備・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の職員教材は適切であるか。	3	2	訪問の際、特に教材は使用していない。 貸出ができる物がない場合がある。 口頭でのやりとりが中心になっている為、園の環境等に関する直接支援を先生方とコン センサスを得ながら行う事は個人的な課題です。	訪問園の状況を踏まえて園でできそうな教材・職員等の提案は行っていると考えます。教 材等の利用について職員間で情報共有をしているようにします。
	2	利用希望者に対して、職員の配置は適切であるか。	1	4	利用者を選別している。 年齢層等訪問支援が入ると安心できるお父さんは居ると感じるが人手の配属として現状 では難しい。	訪問支援利用者の上限を決めた上で選定をしています。 利用希望以上に保育所等訪問支援を必要とするお父さんはいることは把握して います。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り） に、広く職員が参画しているか。	2	3		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	個別に意見を聴き取っている。	今後も個別の意見や自己評価表等を通して 保護者や園の意見等を把握する機会を設けます。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	4	1	相談室と定期的にミーティングを持っている。 日常的なコミュニケーションを大切にしています。	今後も定期的なコミュニケーションや定期 ミーティングで意見交換の場を設けていきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	4	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で 研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成して いるか。	5	0		
	9	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、 子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の 利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
適切な支援の提供	10	個別支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、 訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0		
	11	個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われてい るか。	5	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		
	13	個別支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪 問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内 容が設定されているか。	2	3		
	14	個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われてい るか。	4	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	3	2		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	2	3		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法等を尊重し て支援を行っているか。	5	0		
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	5	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、個別 支援計画の見直しが必要かを判断し、適切な見直しを行っている か。	5	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2		
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を 行う体制を整えているか。	3	2		
	22	訪問・献字時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容 等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門員や専門機関等から助言を受け たり、職員を外部研修に参加させているか。	2	3		
	24	(自立支援)協議会・子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極 的に参加しているか。	3	2		
	25	日々から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や 課題について共通理解を持っているか。	4	1		
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	4	1		
	27	運営規程、利用負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に 説明を行っているか。	5	0		
	29	個別支援計画を作成する際には、子どもと保護者の意思の尊重、こ どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意 向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	30	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から 個別支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、相談や必要な助産と支援を行っているか。	5	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ り、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。ま た、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている か。	2	3		
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備す るとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	34	定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や連絡体制等の情報も子どもや保護者に対して発信 しているか。	1	4		

訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	36	舞臺のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	必ず実施している。	随時として行っています。
非常時の対応	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、保護関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	事業所内のヒヤリハットは毎月、会議の場で共有している。	中部療育センターの組織的な対応に基づいて訪問で事象があれば報告していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待が心配される場合、定期的な会議内で確認している。	中部療育センターの組織的な対応に基づいて訪問で事象があれば報告していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	4	1	会議で定期的に実施。	中部療育センターの組織的な対応に基づいて訪問で事象があれば報告していきます。